特認校　富沢小と家庭・地域をつなぐ学校だより

みらい

旭川市立富沢小学校　No. 7　平成27年　9月19日発行

学校教育目標
夢をもち未来を拓く子ども
【目指す児童の姿】
かしこい子　（知）
あかるい子　（徳）
ねばりづよい子（徳）
たくましい子　（体）
【実践の合い言葉】
きたえ ふれあう 富沢っ子

H27年度前期学校評価結果の報告

◇今年度の学校評価は，教師・保護者・児童とも統一した評価の観点で実施し，三者の評価結果を比較しました。
◇教師は観点に対する指導状況についての評価，保護者は観点に対するお子さんの様子についての評価，児童は観点に対する自己評価です。
◇カッティングポイントを「A:よくしている」までに設定し分析しました。
◇全体的に『教師の評価は低く，児童の評価は特に高い』という傾向が見られました。
◇分析資料は全部でA3用紙12ページとなるため，今回は教師・保護者・児童の評価結果の比較のみ公表します。

・グラフからわかるように，教師・保護者・児童が「よくしている」と回答した割合を比較すると，

V　型　（13項目）・・・保護者の評価が最も低い。

直線型（14項目）・・・教師の評価が最も低い。

山　型　（ 1項目）・・・保護者の評価が最も高い。

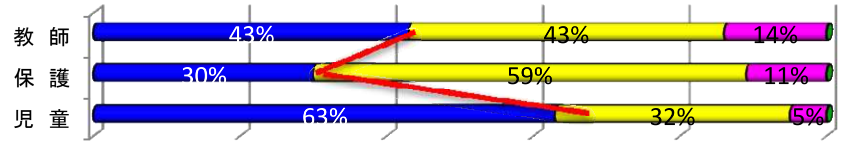
の3パターンに分類される。

平成27年度　富沢小学校　学校評価　総合評価結果　三者比較

A よくしている　B おおむねしている　C あまりしていない　D していない

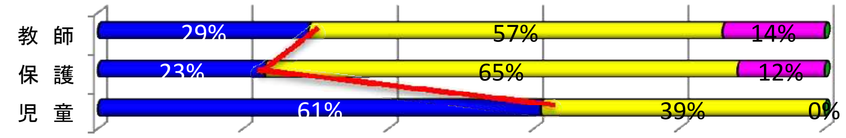
確かな学力

1 忘れ物をしないように気を付けている



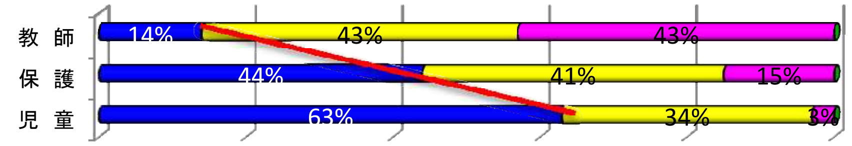
・忘れ物に関しては，改善傾向にあると思われるが，教師の評価結果から，「さらに指導の余地あり」と判断できる。
・保護者へ実態を伝え協力をお願いする。

2 学校の学習内容を理解している



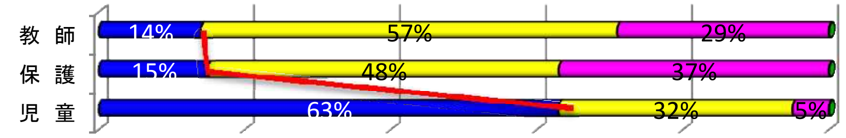
・児童の評価でC・Dが0%であることは高く評価できる。
・一層の指導工夫改善を図る。

3 進んで学習・発表している



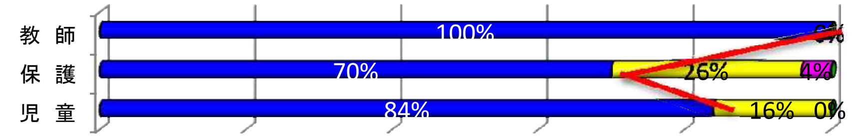
・児童・保護者が比較的高く評価しているのに対して，教師の評価が低い。
・児童が自主的・主体的に学習に取り組めるようにするための指導の工夫改善に努める。

4 しっかり話を聞き内容を理解している



・どの学級も話を聞く態度には課題がない。しかし，聞いた内容をしっかり理解するためにはしっかりと学習トレーニングを行うべきである。

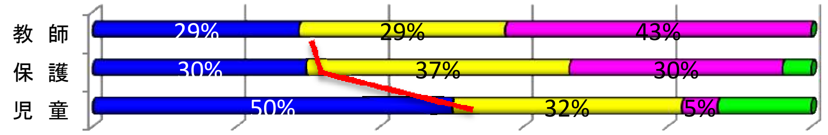
5 宿題を忘れずに取り組んでいる



・「宿題」に関しては，三者ともに評価が高く，最高評価の項目である。

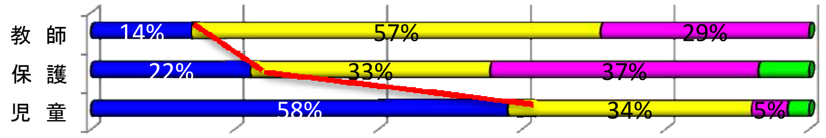
明るく・豊かな心

6 進んで家庭学習に取り組んでいる



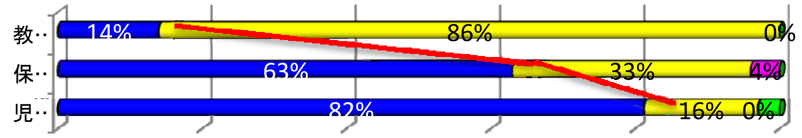
・家庭学習に積極的に取り組ませている学級もあるが，宿題から「家庭学習」へどのように発展させていくべきかの共通理解が必要である。

7 進んで読書している



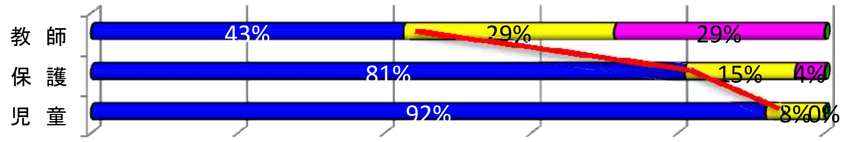
・児童の読書傾向・実態を把握した上で，適切な読書指導が必要である。
・1年間の読書量に関して，数値目標を設定させることも有効である。

8 学校に行くことを楽しみにしている



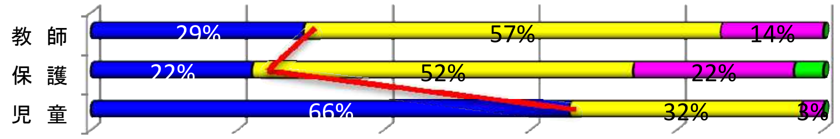
・ほとんどの児童が学校が楽しいと感じてくれている。
・どうすれば教師のA評価を高めることができるのか学級経営の工夫に期待する。

9 学校行事に楽しく参加している



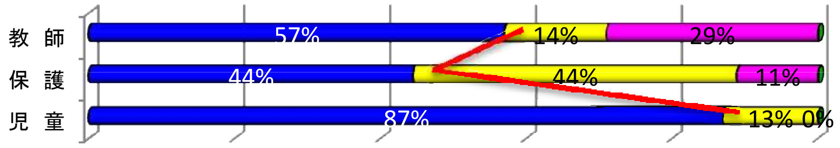
・従来通りの学校行事の継続で，保護者・児童はおおむね満足している。
・総合的な学習と並行して学校行事の精選も必要では？

10 学校や家庭でのきまりを守っている



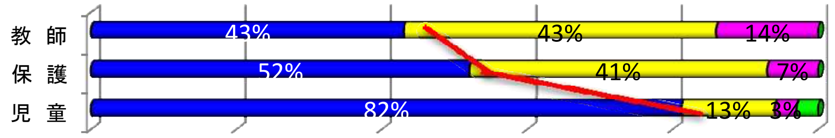
・児童が守ることが苦手なきまりはどのようなものか？実態を明らかにした上で，重点化し特別活動・道徳との関連指導に取り組む。

11 誰にでも進んで挨拶している



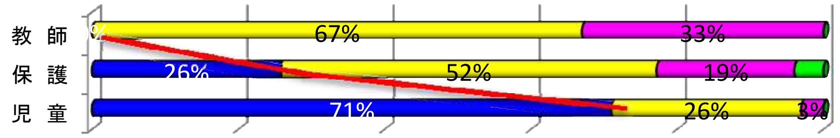
・本校児童の挨拶のすばらしさは誰もが認めるところである。今後もよさを伸ばしていきたい。

12 遊びのルールを守り友達と仲よく遊んでいる



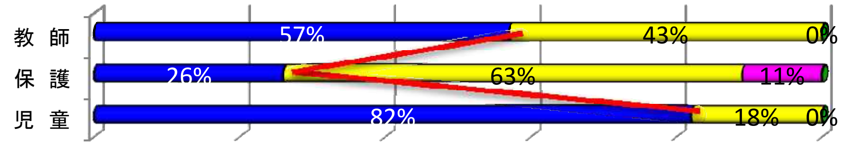
・休み時間などの児童の自発的な遊びに教師が積極的に関わることで，教師・児童ともに得られるものは大きいはずである。

13 道徳の時間で学んだことを生かして生活している



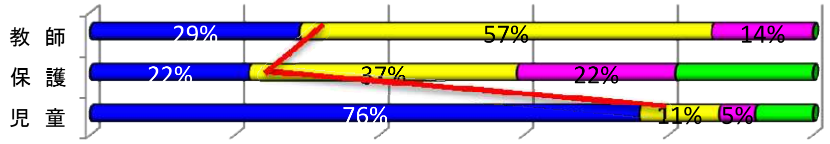
・教師のA評価0%残念な結果である。
・児童自らよりよい生き方を追求させるための道徳の時間の充実を期待する。

14 人に優しく親切にしている



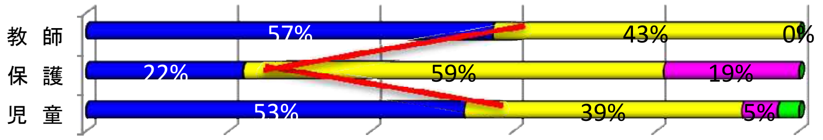
・家庭での実態は不明ではあるが，教師・児童の評価の通り，人に優しい児童が多いことは事実である。

15 いじわる・いじめをされることなく生活している



・設問の文章と回答の選択肢に不適切な部分があり，保護者・児童ともに回答の仕方に迷いがあったようである。児童に関しては再度調査を実施する。

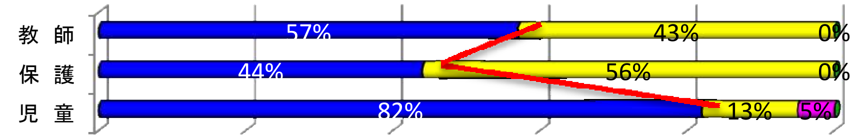
16 自分のよさ・個性を発揮している



・唯一，教師の評価が最も高い項目である。児童一人一人に自分のよさに気付かせるための道徳やキャリア教育での指導と個性を発揮できる場の保障を心がける。

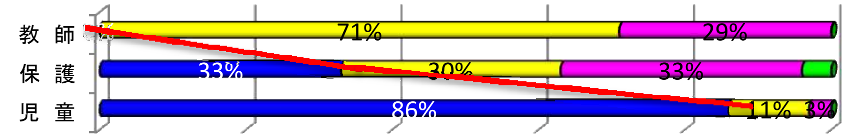
明るく・豊かな心

17 よく先生に褒められている



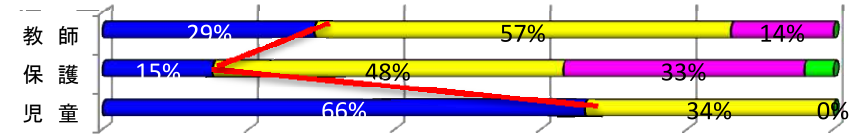
・どの先生方も子どものよさを認め褒めてくれている。
・児童を褒める行為は偶然ではなく，計画的・意図的に行うべきものとして今後も継続する。

18 将来の夢をもって生活している



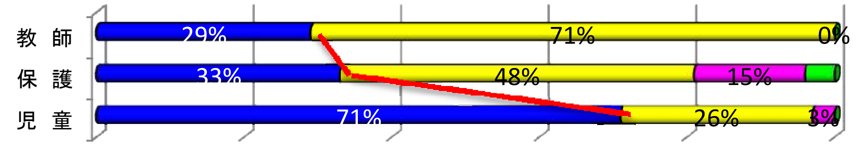
・教師の評価が低いのは，キャリア教育としての実践が不十分であるということ。
・キャリア教育の学年別指導計画をもとに，教科・道徳との関連指導を積極的に取り組む。

19 自分で調べたり解決したりしている



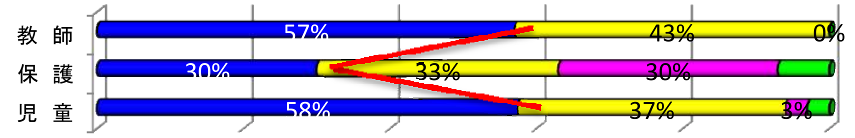
・家庭学習につながる大切な要素。
・自力解決型学習方法を身に付けるための指導が不可欠。ワークシートを使わない学習の仕方を学ばせること。

20 苦手なことに一生懸命取り組んでいる



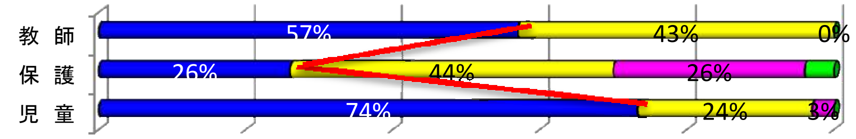
・これだけたくさんの活動があって，児童も先生方も，得意・不得意関係なしによく努力していると思う。

21 学校や家で目標を決めて取り組んでいる



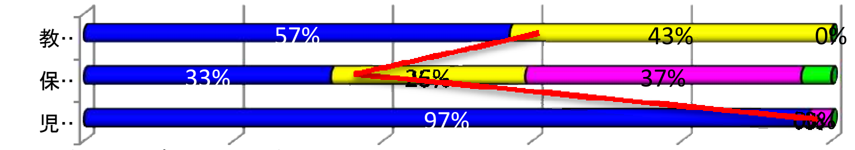
・教師と児童の評価結果がほぼ同じ傾向であることは，指導した分の成果が表れていると判断できる。
・家庭での目標設定という場面は少ない。

22 ねばり強く最後まで努力している



・学習・運動・生活など様々な学習や体験を通して「粘り強く最後まで努力すること」の価値を自覚させていく。

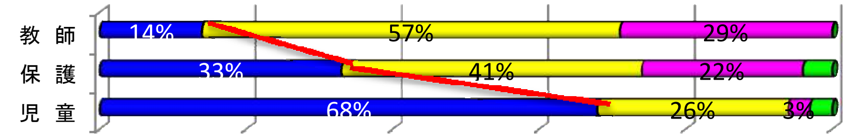
23 係の仕事や家でのお手伝いに進んで取り組んでいる



・特に高学年児童会・委員会での活躍は顕著である。掃除当番では時々，真剣に取り組めない状況も見られるが・・・。
・家であまりお手伝いをさせていないのかも？

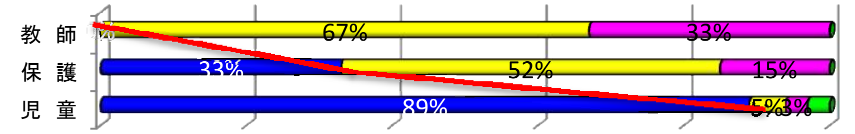
たくましい体

24 好き嫌いせずおいしく食べている



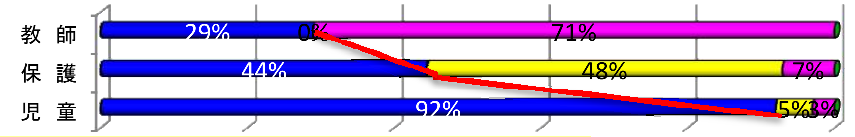
・健康のため，体づくりのために食べること(偏食指導)は必要であるが，その前提として，まずはみんなと一緒に食べることに「楽しさ」を感じさせたい。

25 けがや病気に気を付けている



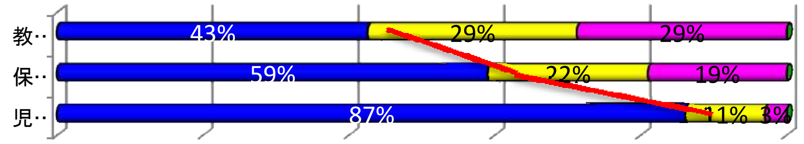
・児童は自ら「健康安全」に気を付けているという意識が高いが，指導不十分という面もある。具体策を明らかにして実践に取り組む。

26 交通安全に気を付けている



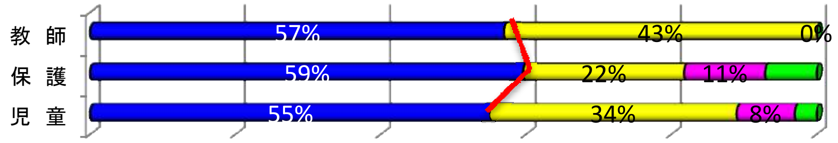
・児童は自ら「交通安全」に気を付けているという意識が高い。交通安全に関しては，繰り返し何度でもしつこく指導し続けることが必要である。

27 進んで運動に参加している



・富沢タイムなど多種多様な運動種目に対して，熱心に活動しているが，中には「好きではないが。」という児童もいる。運動嫌いな子に楽しく運動させるためのノウハウは？

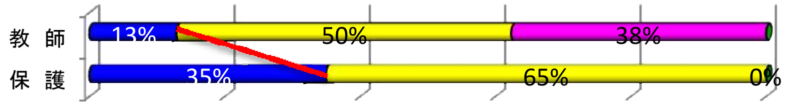
28 目標やめあてをもって運動に取り組んでいる



・マラソンや体力テスト，運動会など個人目標や数値目標の設定は運動・スポーツに対する活動意欲を高めることは言うまでもない。

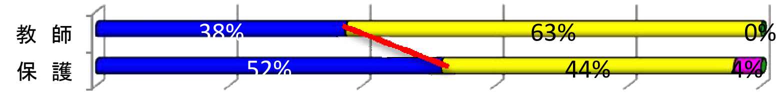
学校経営

29 保護者・地域の要望を学校経営に取り入れている



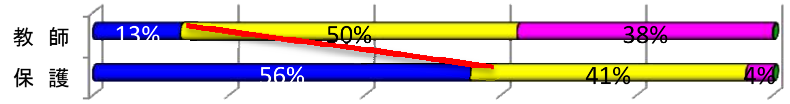
・保護者・地域の方々との対話から，学校に対する要望はあまりないのが実態であるが，教育課程の改善などに関しては，きめ細かく説明責任を果たすことが必要。

30 学校HPや学校だよりで必要な情報を発信している



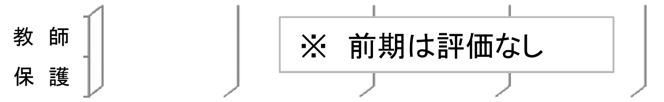
・学校だより，学校HPはより一層内容の充実を図る。
・また，「学級通信」も大切な情報発信の一つであるという意識で内容・質の向上が必要である。

31 協力して子どもの指導や業務に当たっている



・教職員の協働体制について，昨年度の課題でもあったが，教師自らの評価が保護者の評価より低いというのはどうなんでしょう？

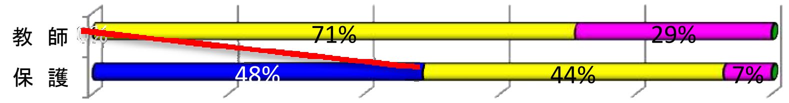
32 幼・小・中・特別支援学校との連携を図っている



・2学期は幼稚園・聾学校との交流がある。教師も児童も目的意識をしっかりもって，充実した活動なることを期待する。

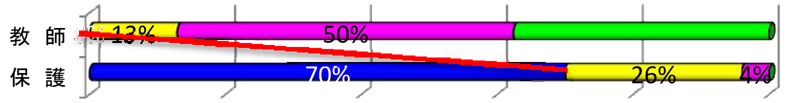
特色ある教育活動

33 特認校としての教育活動に満足している



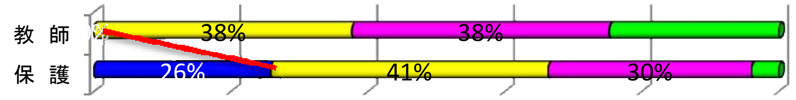
・特色ある教育に対する教師の評価と比べると，保護者の評価は非常に高く評価していただいている。

34 「ふるさと学習」は魅力的な内容で成果を上げている



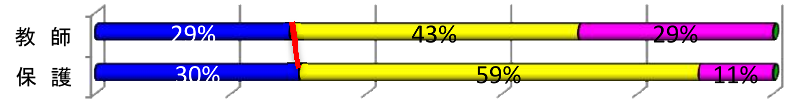
・ふるさと学習に関する改善は早急に着手するが，現在，充分満足している保護者に対して，充分理解してもらいただけるような資料と説明が不可欠である。

35 「ふるさと家族制度」で地域とのふれあいを実現している



・案内状配布程度のふるさと家族制度を打破し，face to face の関係を築くための訪問型の活動を実現させる。

36 全校英語活動で将来に必要な資質・能力を養っている



・全校英語活動の取組の評価を高めるには，子どもたちが英語に興味をもち，理解し，話せるようになったことを児童・教師・保護者ともに実感できるようにしたい。